

## 業務委託設計書(金抜き)

業務年度	令和7年度	業務番号	第1902号
業務名	道路台帳補正業務(測量業務)その3委託		
路線名	門3-687号線 外17路線		
業務箇所	会津若松市内一円		
工種	測量		
業務日数	当初設計	132日	

業務概要	当初設計	
計画準備	1式	
資料収集	3.00km	
法務局調査	3.00km	
現地調査	3.00km	
簡易基準点測量	59点	
現地測量	2.72km	
オフセット測量	0.27km	
横断測量	2.72km	
橋梁台帳作成	5箇所	
数値地形図データファイル更新	3.00km	
延長・面積測定	3.00km	
打合せ	1式	

仕様	仕様書によること。
摘要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱を遵守すること。</li> <li>・福島県土木部監修共通仕様書(業務委託編)によること。</li> <li>・会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守すること。</li> <li>・地産地消に努めること。</li> <li>・その他については監督員と協議すること。</li> </ul>
設計年月	令和7年9月

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系 ファイル名	C2 会津若松市 実施設計書 当初 00000000000 0  1 実施単価 51 L ( 会津若松 1 ) 地区 00-07.09.15(0)  4 業務委託 R7道路台帳補正業務 ( その 3 )			
	当 世 代	前 世 代		
前払率 測量調査発注区分 冬期割増 設計発注区分 旅費交通費区分	30 00 建設コンサルタント 00 冬期割増なし 00 建設コンサルタント 03 率計上(上記以外)			

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 特殊勤務費[円]		

# 測 量 及 び 試 験 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
測量費					X1000
道路台帳補正業務					Y1001
計画準備	1	式			VAD001 00 施工 第0 -0001号表
資料収集	3.00	km			VAD021 00 施工 第0 -0002号表
法務局調査	3.00	km			VAD022 00 施工 第0 -0003号表
現地調査 1/500	3.00	km			VAD003 00 施工 第0 -0004号表
簡易基準点測量 ネットワーク型RTK法による単点観測法	59	点			VAD043 00 施工 第0 -0005号表
現地測量(A,B類) 1/500	1.61	k m			VAD006 00 施工 第0 -0006号表
現地測量(C類) 1/500	1.11	k m			VAD007 00 施工 第0 -0007号表
オフセット測量(D類) 1/500	0.27	k m			VAD008 00 施工 第0 -0008号表
横断測量(A,B,C類) 1/100	2.72	k m			VAD009 00 施工 第0 -0009号表
橋梁台帳作成	5	箇所			VAD011 00 施工 第0 -0010号表

# 測 量 及 び 試 験 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
数値地形図データファイル更新 1/500	3.00	km			VAD013 00 施工 第0 -0011号表
延長・面積測定	3.00	km			VAD014 00 施工 第0 -0012号表
打合せ（県内業務）（測量業務） 打合せ回数3回	1	式			SA030 00 施工 第0 -0013号表
旅費交通費		式			Z0011
直接経費計					
直接測量費計					
諸経費		式			
測量業務価格					
業務委託料（まるめ）					
業務価格計					
消費税等相当 額計		式			
委託費計					



# 施 工 内 訳 表

頁0-0005

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
資料収集 VAD021	10	km			施工 第0 -0002号表 特単単価適用日：07年09月15日
測量技師補 (内業) [ 5 5 % ]	2.0	人			R5030
測量助手 (内業) [ 5 5 % ]	2.0	人			R5040
測量補助員 (内業) [ 6 5 % ]	2.0	人			R5090
機械経費	0.5	%			#01
材料費	40	%			#01
*** 合 計 ***	10	km			
*** 単位当たり ***	1	km			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0006

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法務局調査 VAD022	10	km			施工 第0 -0003号表 特単単価適用日：07年09月15日
測量技師補 (内業) [ 5 5 % ]	0.7	人			R5030
測量助手 (内業) [ 5 5 % ]	0.7	人			R5040
機械経費	0.5	%			#01
材料費	40	%			#01
*** 合 計 ***	10	km			
*** 単位当たり ***	1	km			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0007

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>現地調査</b> VAD003 1/500	1	km			施工 第0 -0004号表 特単単価適用日：07年09月15日
測量技師 (外業) [ 5 5 % ]	0.5	人			R1020
測量技師補 (外業) [ 5 5 % ]	0.5	人			R1030
機械経費	3.5	%			#01
材料費	7.0	%			#01
地域変化率					+00 *1
*** 単位当たり ***	1	km			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0008

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>簡易基準点測量</b> VAD043 ネットワーク型RTK法による単点観測法	35	点			施工 第0 -0005号表 特単単価適用日：07年09月15日
測量主任技師（外業） [ 5 5 % ]	1.0	人			R1010
測量技師（外業） [ 5 5 % ]	8.0	人			R1020
測量技師補（外業） [ 5 5 % ]	8.0	人			R1030
測量助手（外業） [ 5 5 % ]	8.0	人			R1040
機械経費	3.5	%			#01
通信運搬費	4.0	%			#01
材料費	3.0	%			#01
精度管理費	9.0	%			#02
変化率  永久標識設置なし、伐採なし					+00 *0.5
*** 合 計 ***	35	点			
*** 単位当たり ***	1	点			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0009

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>現地測量(A,B類)</b> VAD006 1/500	4	k m			施工 第0 -0006号表 特単単価適用日：07年09月15日
測量主任技師（外業） [ 5 5 % ]	0.5	人			R1010
測量技師 （外業） [ 5 5 % ]	7.0	人			R1020
測量技師補 （外業） [ 5 5 % ]	16.5	人			R1030
測量助手 （外業） [ 5 5 % ]	8.0	人			R1040
機械経費	5.5	%			#01
通信運搬費	1.0	%			#01
材料費	2.5	%			#01
精度管理費	5.0	%			#02
地域変化率 都市近郊 / 平地					+00 *1.1
*** 合 計 ***	4	k m			
*** 単位当たり ***	1	k m			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0010

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>現地測量(C類)</b> VAD007 1/500	4	k m			施工 第0 -0007号表 特単単価適用日：07年09月15日
測量主任技師（外業） [ 5 5 % ]	0.5	人			R1010
測量技師 （外業） [ 5 5 % ]	7.0	人			R1020
測量技師補 （外業） [ 5 5 % ]	16.5	人			R1030
測量助手 （外業） [ 5 5 % ]	8.0	人			R1040
機械経費	5.5	%			#01
通信運搬費	1.0	%			#01
材料費	2.5	%			#01
精度管理費	5	%			#02
地域変化率 耕地 / 平地					+00 *0.9
*** 合 計 ***	4	k m			
*** 単位当たり ***	1	k m			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0011

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>オフセット測量(D類)</b> VAD008 1/500	1.0	k m			施工 第0 -0008号表 特単単価適用日：07年09月15日
測量技師 (外業) [ 5 5 % ]	2.0	人			R1020
測量技師補 (外業) [ 5 5 % ]	4.0	人			R1030
測量助手 (外業) [ 5 5 % ]	2.0	人			R1040
機械経費	2.0	%			#01
材料費	2.0	%			#01
地域変化率  都市近郊 / 平地					+00 *1.1
*** 単位当たり ***	1	k m			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0012

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
横断測量(A,B,C類) VAD009 1/100	10.0	k m			施工 第0 -0009号表 特単単価適用日：07年09月15日
測量技師 (外業) [ 5 5 % ]	4.0	人			R1020
測量技師補 (外業) [ 5 5 % ]	4.0	人			R1030
測量助手 (外業) [ 5 5 % ]	3.5	人			R1040
機械経費	3.0	%			#01
通信運搬費	4.0	%			#01
材料費	3.0	%			#01
地域補正率  都市近郊 / 平地					+00 *0.9
*** 合 計 ***	10	k m			
*** 単位当たり ***	1	k m			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0013

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁台帳作成 VAD011	10	箇所			施工 第0 -0010号表 特単単価適用日：07年09月15日
測量技師 (外業) [ 5 5 % ]	1.0	人			R1020
測量技師補 (外業) [ 5 5 % ]	5.0	人			R1030
測量助手 (外業) [ 5 5 % ]	5.0	人			R1040
機械経費	2.0	%			#01
*** 合 計 ***	10	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0014

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
数値地形図データファイル更新 VAD013 1/500	100	km			施工 第0 -0011号表 特単単価適用日：07年09月15日
測量技師 (内業) [ 5 5 % ]	2.0	人			R5020
測量技師補 (内業) [ 5 5 % ]	15.0	人			R5030
測量助手 (内業) [ 5 5 % ]	40.0	人			R5040
機械経費	2	%			#01
材料費	0.5	%			#01
*** 合 計 ***	100	km			
*** 単位当たり ***	1	km			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0015

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
延長・面積測定 VAD014	10.0	km			施工 第0 -0012号表 特単単価適用日：07年09月15日
測量主任技師（内業） [ 5 5 % ]	1.0	人			R5010
測量技師（内業） [ 5 5 % ]	20.0	人			R5020
測量技師補（内業） [ 5 5 % ]	20.0	人			R5030
測量助手（内業） [ 5 5 % ]	5.0	人			R5040
機械経費	20.0	%			#01
材料費	0.5	%			#01
*** 合 計 ***	10	km			
*** 単位当たり ***	1	km			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

# 施 工 内 訳 表

頁0-0016

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
打合せ（県内業務）（測量業務） SA030 打合せ回数3回	1	式			施工 第0 -0013号表
基準日額（測量主任技師） 直接人件費 [ 5 5 % ]	1.500	日			R5010
基準日額（測量技師） [ 5 5 % ]	1.000	日			R5020
基準日額（測量技師補） [ 5 5 % ]	0.500	日			R5030
*** 単位当たり ***	1	式			
A=3 打合せ回数（2以上の整数値） B=0.5 C=0.5 D=0 E=0.5					
F=0 G=0.5 H=0.5 I=0.5 J=0					
K=1 設計業務等標準積算基準 1 - 2 - 1					

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

## 道路台帳補正業務（測量業務）その3 委託 仕様書

### （目的）

第1条 本業務は、会津若松市（以下、「甲」という。）が管理する「道路台帳管理システム」における道路現況平面図と道路台帳図を補正し、道路台帳調書を更新するための測量業務を行い、現況平面図DMデータ等の各種データ等を作成するものであり、また、別途発注の道路台帳管理システム入力支援業務の遂行に伴う基礎資料の作成等を目的とする。

### （仕様書）

第2条 本業務の遂行にあたっては、本仕様書に従うものとする。

### （成果品の管理及び帰属）

第3条 成果品は、第33条に示すものを提出し、管理及び帰属は、すべて甲とする。  
また、本業務の受注者（以下、「乙」という。）は、成果品を第三者に対し公表してはならない。

### （業務の執行体制）

第4条 執行体制は、本業務の特質を考慮して品質確保を重視するため、専門的知識と経験を有する者により構成するものとし、円滑な進捗を図るため、乙は、甲の承認を経て、次の各号に掲げる要件を満たす主任技術者（以下、「配置する技術者」という。）を、各1名以上配置しなければならない。

- (1) 配置する技術者は、乙と直接の雇用関係を有する者とする。
- (2) 配置する技術者は、道路台帳の補正業務の経験を有する者とする。
- (3) 配置する技術者は、測量士の資格を有する者とし、登録証明書の写しを提出するものとする。

2 配置する技術者のほか、補助的業務を担う業務従事者を配置することができるものとする。

### （準拠すべき法令等）

第5条 本業務の遂行にあたっては、本仕様書に定めるもののほか、次の各種法令等の最新版に準拠するものとする。

- (1) 道路法
- (2) 測量法
- (3) 道路法施行規則
- (4) 地方交付税法
- (5) 公共測量作業規程の準則
- (6) 道路台帳統合基準書
- (7) 会津若松市道路台帳図式
- (8) 道路台帳図デジタル化仕様書
- (9) 各種台帳別表・横断図命名基準書

(10) 道路台帳調書基準書

(11) 設計書

(提出書類)

第6条 乙は、本業務の着手前に、作業計画書及び着手届、業務工程表、主任技術者通知書等を甲に提出し、監督員の承諾を得たのち、着手するものとする。

(打合せ)

第7条 本業務の着手時及び主要な区切りにおいて、乙は甲と打合せを行うものとし、その結果を記録し、甲乙双方で確認するものとする。

(資料の貸与)

第8条 甲は、業務に必要な資料について、所定の手続きにより、乙に貸与するものとする。

乙は、貸与された資料について、厳重に管理し、紛失・破損等のないよう努めるとともに、業務の完了後、速やかに甲に返却しなければならない。

また、当該資料について、貸与期間中に甲からの問い合わせ等があった場合、乙は速やかに対応するものとする。

(業務の履行保証)

第9条 乙は、本業務に定める成果品データについて、速やかに甲に提出し、成果品検査を受けなければならない。

また、成果品検査後において、乙の責による誤りが発見された場合は、乙の負担により速やかに訂正するとともに、再提出しなければならない。

さらにこの場合、乙は、「道路台帳管理システム」のデータベースへの適正なセットアップが確認されるまで、履行責任を負うものとする。

(1) 「道路台帳管理システム」とデータとの整合性を確認するため、甲が指示する箇所について、成果品検査を受けるものとする。

(2) 成果品検査は、別途発注の道路台帳管理システム入力支援業務に支障を来さないよう、本業務の履行期間の満了日までに完了するものとする。

(情報の保護)

第10条 個人情報扱うため、情報に関わる責任者及び保管場所を決めるとともに、情報を適切に取り扱い、管理しなければならない。

(秘密の保持)

第11条 乙は、本業務の実施により生じたすべての成果品について、甲の許可なく他に公表及び貸与してはならない。

また、本業務の実施により知り得た秘密を、他に漏らしてはならない。

(事故報告)

第12条 本業務の実施中に事故が発生したときは、所要の措置を講ずるとともに、事故発生の原因及び経過等について、文書により甲に報告しなければならない。

(協議)

第13条 乙は、本仕様書に明記されていない、作業上必要な事項や作業の実施に伴い生じた細部事項等について、監督員と協議のうえ進めるものとする。

(納入場所)

第14条 本業務の成果品の納入場所は、会津若松市 建設部 開発管理課とする。

(業務概要)

第15条 本業務の概要は、次のとおりとする。

(1) 作業範囲	市内全域
(2) 道路台帳補正	
① 資料収集	3.00 Km
② 法務局調査	3.00 Km
③ 現地調査 (1/500)	3.00 Km
④ 簡易基準点測量 (4級)	59点
⑤ 水準測量 (4級)	0.00 Km
⑥ 現地測量 (1/500)	2.72 Km
⑦ オフセット測量 (1/500)	0.27 Km
⑧ 横断測量 (1/500)	2.72 Km
⑨ 補測調査 (1/500)	0.00 Km
⑩ 再認定 (1/500)	0.00 Km
⑪ 廃止路線 (1/500)	0.00 Km
(3) 台帳基図構造化データ作成	3.00 Km
(4) 延長・面積測定	
① 台帳基図延長・面積測定 (1/500)	3.00 Km
(5) 数値地形図データファイル更新	
① 道路現況平面図 (1/500)	3.00 Km
② 台帳基図構造化データ (1/500)	3.00 Km
(6) 道路台帳基礎データ作成	3.00 Km
(7) 橋梁・踏切台帳等作成	
① 橋梁台帳	5.00箇所
② 踏切台帳	0.00箇所
③ 構造物台帳	0.00箇所

(計画準備)

第16条 本業務の目的・趣旨を十分に理解したうえで、業務計画を立案し、初回の打合せまでに作業計画書としてとりまとめ、甲の承認を得るものとする。

(資料収集)

第17条 本業務に必要な資料は、甲より乙へ貸与する。

貸与資料については、破損や亡失等の無いよう慎重に取り扱うものとする。

(現地調査)

第18条 各種資料をもとに、補正対象箇所にかかる現地調査を実施し、補正内容を確認するものとする。

(基準点測量)

第19条 基準点測量の既知点は、公共基準点を利用し、4級基準点を設置するが、公共基準点が補正対象箇所付近に無い場合は、ネットワーク型RTK法による単点観測法により設置することができるものとする。

(現地測量)

第20条 現地測量は、トータルステーション等を用いて、補正対象箇所の地形・地物等を測定して整理するものとし、対象となる補正箇所は、次のとおりとする。

- (1) 新たに認定された道路
- (2) 拡幅改良された道路
- (3) 一部改良された道路（側溝新設・歩道設置）

(オフセット測量)

第21条 オフセット測量は、巻き尺等を用いて、補正対象箇所の地形・地物等を測定して整理するものとし、対象となる補正箇所は、次のとおりとする。

- (1) 一部改良された道路（側溝蓋設置・ガードレール設置・舗装のみ）

(数値編集)

第22条 現地測量・オフセット測量をもとに、最新の道路台帳現況平面図・台帳図を作成するものとする。

なお、現況平面図については、第5条第8号及び第9号に準拠し、各図郭単位で作成するものとする。

(補測調査)

第23条 補測調査は、現地測量における不足分及び数値編集における疑問点について、再度調査し、整理した内容に基づいて平面図を修正するものとする。

(台帳基図構造化データ作成)

第24条 第17条から前条までの作業等を踏まえ、道路中心線の配置及び道路線形に対する道路区間を作成し、道路管理に必要となる項目を追加するものとする。

(延長・面積測定)

第25条 補正し更新した台帳基図構造化データをもとに、各調書や集計表の作成に必要な属性情報の収集・計測を行うものとする。  
また、収集・計測については、第5条第7号に準拠するものとする。

(数値地形図データファイル更新)

第26条 現地測量・オフセット測量・補測調査により、道路台帳補正図を作成し、既存の数値地形図データファイルを更新するものとする。

なお、既存の数値地形図データファイルは、次の項目を補正するものとする。

- (1) 現況平面図について、第5条に定める仕様書等により、数値地形図データを作成するものとする。
- (2) 台帳基図構造化について、第5条に定める仕様書等により、構造化データを作成するものとする。

(道路台帳基礎データ作成)

第27条 道路台帳基礎データは、第5条に定める仕様書等により、現地調査で測定・記録したデータに基づき、作成するものとする。

(橋梁台帳作成)

第28条 橋梁台帳は、現地調査で測定・記録した写真等に基づき、補正するものとする。

(踏切台帳作成)

第29条 踏切台帳は、現地調査で測定・記録した写真等に基づき、補正するものとする。

(構造物台帳作成)

第30条 構造物台帳は、現地調査で測定・記録した写真等に基づき、補正するものとする。

(公図データ更新)

第31条 道路台帳現況平面図の補正区間について、最新の地番を確認できるよう、法務局より公図を入手するとともに、PDF化するものとする。

(ファイリングデータ作成)

第32条 収集しスキャニングした画像データ及び現地調査等により作成した資料を、道路路線ごとに整理・分類し、第5条に定める仕様書等により、ファイリングデータを作成するものとする。  
また、作成の対象は、次のとおりとする。

- (1) 橋梁台帳
- (2) 踏切台帳
- (3) 構造物台帳
- (4) 横断面図

(成果品)

第33条 本業務の成果品は、次のとおりとする。

- |                            |     |
|----------------------------|-----|
| (1) 基準点・水準測量成果簿            | 1 式 |
| (2) 数値地形図データファイル (1/500)   |     |
| ① 現況平面図 (DMデータ：図郭単位)       | 1 式 |
| ② 台帳基図構造化データ (DMデータ：図郭単位)  | 1 式 |
| (3) 各種台帳                   |     |
| ① 橋梁台帳 (Excel/PDFデータ、台帳図面) | 1 式 |
| ② 踏切台帳 (Excel/PDFデータ)      | 1 式 |
| ③ 構造物台帳 (Excel/PDFデータ)     | 1 式 |
| (4) 延長・面積測定データ (Excelデータ)  | 1 式 |
| (5) 道路台帳基礎データ (Excelデータ)   | 1 式 |
| (6) ファイリングデータ (PDFデータ)     | 1 式 |
| (7) 公図データ (PDFデータ)         | 1 式 |
| (8) その他資料                  |     |

(成果品データの事前提出)

第34条 前条の成果品のうち、第2号及び第4号については、本年12月の末日までに事前提出するものとする。

(その他)

第35条 甲は、乙から提出された成果品の確認検査を行い、基準を満たしていないと判断された場合、甲は、乙に必要な修正等を指示し、乙は、速やかにこれに対応しなければならない。

なお、道路台帳統合基準書等に記載の無い事項について、乙が、「道路台帳管理システム」の開発業者からの技術的な指導等を受ける必要が生じた場合、乙は、費用負担も含め、「道路台帳管理システム」の開発業者と協議するものとする。